眼科医連盟ニュース

発行：日本眼科医連盟　〒105-0014 東京都港区芝 2-2-14 一星芝ビルディング 7 階

2016 年 5 月 20 日　第 30 号

日本眼科医連盟 委員長あいさつ

日本眼科医連盟委員長
高　野　　繁

平成 27 年 3 月 5 日（木）待ちに待った眼科医療に特化した議員連盟が政権与党である自由民主党の中に立ち上がりました。その名も「眼科医療政策推進議員連盟」です。会長を前厚生労働大臣である田村憲久衆議院議員に，また事務局長をお茶の水・井上眼科病院の次男である井上信治衆議院議員に務めていただいております。現在のところ衆参両院あわせて 96 名の国会議員が入会してくださり，すでに 3 回の総会を行っております。総会には日本眼科医連盟より我々役員が出席し，意見を述べ，お願いもさせていただいております。その結果，昨年度は「公的な成人の目の検診プログラムの創設」や「平成 28 年度診療報酬改定」の問題に一定の効果を得ることができました。

繰り返しになりますが，国民のために私たち眼科医が願うことを実現するためには，政治の力が不可欠です。政治的活動なくして，私たちの思いは伝わらないといっても過言ではありません。一人も欠けることのない全眼科医のご理解・ご協力をお願い致します。

眼科医療政策推進議員連盟 会長あいさつ

眼科医療政策推進議員連盟会長
衆議院議員（三重 4 区）
田　村　憲　久

昨年の 3 月に眼科医療政策推進議員連盟が発足し，会長に就任致しました。微力ながらも，この約 1 年間，精一杯，活動し，国民の皆様の健康福祉の向上に取り組んで参りました。

しかしながら，今後益々，高齢化が進む中，更なる健康寿命の延伸が求められて参ります。人間の情報伝達手段の中で，視覚は正に，その入り口です。眼科医療に携われてみえる皆様方と共に，更に，国民が元気で，心豊かに，そして明るく生活することが出来ますよう，一層の充実が求められます。

国民が安心安全に生活し，その生活の質（QOL）の向上のためにも，また，視覚障害を持たれている方々も含め，眼科医療の重要性を鑑み，皆様のご意見・ご提言を傾聴し，政策提言を行い，実現を目指して参ります。

本年は参議院議員選挙もございます。我々，自由民主党に対し，一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

更なる連携の深化を

眼科医療政策推進議員連盟事務局長
環境兼内閣府副大臣，衆議院議員（東京 25 区）
井　上　信　治

「眼科医療政策推進議員連盟」事務局長を務めております，井上信治です。高野繁委員長はじめ先生方が，平素より眼科医療を通じ国民の健康と福祉の増進に多大な貢献をされていることに敬意を表します。

昨年 3 月，皆さまと共に議連を発足させることができました。私自身，眼科医一族の出身でもあり，議連創設は長年の夢でした。設立時 85 名だった入会議員も現在は 96 名に増加しました。また，この 1 年余の間に 3 回の総会を行うなど活発な活動を続けています。今後とも「公的な成人の目の検診プログラムの創設」など国民の健康を守る政策を推進し，併せて眼科医の先生方の職責に相応しい地位の確保も図ってまいります。

議連の活動には，議員と眼科医の先生方との密接な交流が不可欠です。多くの先生方に眼科医連盟にもご加入頂き，私たち国会議員と共に眼科医療政策に関する議論を深めて頂きたいと思います。国会と眼科医療の現場で一致協力し，国民のために，未来の眼科医療を創り上げてまいりたいと思いますので，宜しくお願い致します。

2016年度診療報酬改定に向けて，自民党・眼科医療政策推進議員連盟活動する

会場風景

高野　繁
日本眼科医会会長

田村　憲久
衆議院議員

自由民主党「眼科医療政策推進議員連盟」総会（第２回）

日　時：2015年11月12日
場　所：自由民主党本部　１階　101号室
出　席：日本眼科医会：高野会長，白井・福下・山岸各副会長，神鳥常任理事，三宅顧問
日本眼科学会：髙橋教授（日本医大），堀教授（東邦大大森），日本視能訓練士協会，日本眼科医療機器協会，日本眼科用剤協会，日本コンタクトレンズ協会
議連に所属する議員　30名
厚生労働省　保険局局長　唐澤　剛
医療課長　宮嵜　雅則
医療課保険医療企画調査室長　三浦　明

内　容：「検査点数の削減と包括化阻止」など要望

自民党・眼科医療政策推進議員連盟（田村憲久会長）の総会が12日に開かれ，日本眼科医会（高野繁会長）が「主要な眼科学的検査点数の削減と包括化の阻止」「水晶体再建術（白内障手術）の適正評価」の２点を要望した。

総会に出席した日本眼科医会の山岸直矢副会長は，眼科診療では，目的や手技の異なるさまざまな検査を患者の症状や疾病に応じて実施していると説明。「各検査の目的や手技が異なるにもかかわらず，それらが同一日に算定されているという理由だけで，中身を吟味せずに包括化することは合理的でない」などと訴えた。また医療経済実態調査の結果を踏まえ，2013年度と14年度を比較すると，眼科は他の診療科以上に損益率が悪化傾向にあることを指摘した。

一方，日本眼科学会・社会保険委員の高橋浩氏は，白内障手術の意義と社会的貢献度の高さなどを強調。07年の外保連手術医療材料調査で，水晶体再建術の材料費率は59%と高かったことに触れつつ，これ以上，診療報酬の点数を減らすことは，白内障手術件数そのものの減少を招くだけでなく，眼科医療全体を脆弱化させると訴えた。

出席した複数の議員からは，眼科医療が患者のQOL向上に貢献していることを，もっと党内で理解してもらえるよう取り組むべきという意見が出た。このほか，古川俊治参院議員は，総会に出席した厚生労働省保険局幹部に対し「（水晶体再建術で）短期滞在手術等基本料を設定したことで，白内障の診療に大きな影響を及ぼしていることは反省してほしい」と批判した。

診療報酬の個別点数については中医協で検討するテーマになるため，総会の締めくくりの挨拶で，田村会長は「私たちが『点数を何点にしろ』と言うべきではない。そのことを肝に銘じながらこの議連を運営していきたい」と述べた。

（以上メディファックスウエブ2015年11月12日号の記事より）

自由民主党「眼科医療政策推進議員連盟」総会（第３回）

日　時：2016年３月10日
場　所：自由民主党本部　１階　101号室
出　席：日本眼科医会：高野会長，白井副会長，前田常任理事，長屋理事，三宅顧問
日本視能訓練士協会，日本眼科医療機器協会，日本眼科用剤協会，
日本コンタクトレンズ協会
議連に所属する議員　23名
厚生労働省　審議官（医療介護連携担当）　吉田　学
医療課長　宮嵜　雅則
医療課保健医療企画調査室長　三浦　明

内　容：16年度改定の内容を聞き取り

自民党の眼科医療政策推進議員連盟（田村憲久会長）は10日に総会を開き，厚生労働省から2016年度診療報酬改定の内容を聞き取った。

16年度改定では，短期滞在手術等基本料３が見直される。水晶体再建術は，現行では片側・両側にかかわらず▽眼内レンズを挿入する場合２万7093点▽眼内レンズを挿入しない場合２万1632点―となっている。16年度改定では，これを片側・両側に分けて点数設定し▽眼内レンズを挿入する場合（片側）２万2096点▽眼内レンズを挿入する場合（両側）３万7054点▽眼内レンズを挿入しない場合（片側）２万65点▽眼内レンズを挿入しない場合（両側）３万938点―とする。

総会に同席した日本眼科医会の高野繁会長は，眼科関連の全体的な改定内容について好意的な見方を示した。短期滞在手術等基本料３の見直しについても「両眼手術しても片眼だけ手術しても同じ値段というのは，患者さんになかなか説明しづらかった。今回，両眼と片眼にしっかりと分けてもらい，国民に分かりやすいものに変えてもらった」と評価した。

一方，15年３月の同議連設立総会で，高野会長は成人を対象にした公的な「目の健診プログラム」を創設するよう要望していたが，10日の総会でその後の状況を報告した。高野会長は「厚生労働省からは，健診の効果や費用対効果をしっかり示すことが大事だと教えていただいた。厚労省にはいろいろ相談に乗ってもらっている」と説明した。

田村会長は，冒頭の挨拶で「改定率が本体プラス0.49%というのは，私が厚労相だった14年度改定時の約５倍。苦しい中ではあったが，私が大臣だった時よりは，いろんなところに点数を付けやすかったと思う」と述べた。

（以上メディファックスウエブ2016年３月10日号の記事より）

眼科医療政策推進議員連盟

（平成 28 年■月■日現在）

衆議院	丹羽　雄哉（茨城６区）	逢沢　一郎（岡山１区）	石破　茂（鳥取１区）	河村　健夫（山口３区）	鴨下　一郎（東京 13 区）	塩谷　立（静岡８区）	遠藤　利明（山形１区）	田村　憲久（三重４区）	原田　義昭（福岡５区）	山本　幸三（福岡 10 区）	金子　恭之（熊本５区）	後藤田正純（徳島１区）		
	西川　公也（比例：北関東）	松本　純（神奈川１区）	山口　泰明（埼玉 10 区）	秋葉　賢也（宮城２区）	井上　信治（東京 25 区）	上川　陽子（静岡１区）	菅原　一秀（東京９区）	後藤　茂之（長野４区）	西村　康稔（兵庫９区）	松島みどり（東京 14 区）	吉川　貴盛（北海道２区）	赤澤　亮正（鳥取２区）		
	城内　実（静岡７区）	左藤　章（大阪２区）	寺田　稔（広島５区）	永岡　桂子（比例：北関東）	あかま二郎（神奈川 14 区）	越智　隆雄（東京６区）	亀岡　偉民（福島１区）	木原　誠二（東京 20 区）	髙鳥　修一（新潟６区）	とかしきなおみ（大阪７区）	冨岡　勉（長崎１区）	原田　憲治（大阪９区）		
	平口　洋（広島２区）	武藤　容治（岐阜３区）	赤枝　恒雄（比例：東京）	秋元　司（比例：東京）	池田　佳隆（比例：東海）	今枝宗一郎（愛知 14 区）	大岡　敏孝（滋賀１区）	大見　正（比例：東海）	鬼木　誠（福岡２区）	勝沼　栄明（比例：東北）	金子万寿夫（鹿児島２区）	神田　憲次（比例：東海）		
	岸　信夫（山口２区）	小林　史明（広島７区）	小松　裕（比例：北信越）	斎藤　洋明（比例：北信越）	島田　佳和（比例：東海）	白石　徹（愛媛３区）	白須賀貴樹（千葉 13 区）	新谷　正義（比例：中国）	瀬戸　隆一（比例：四国）	武井　俊輔（宮崎１区）	武部　新（北海道 12 区）	田中　英之（京都４区）		
	田畑　裕明（富山１区）	辻　清人（東京２区）	豊田真由子（埼玉４区）	長坂　康正（愛知９区）	比嘉奈津美（比例：九州）	福山　守（比例：四国）	藤井比早之（兵庫４区）	堀内　詔子（比例：南関東）	前田　一男（比例：北海道）	牧島かれん（神奈川 17 区）	牧原　秀樹（比例：北関東）	三ツ林裕巳（埼玉 14 区）		
	宮崎　政久（比例：九州）	宮澤　博行（静岡３区）	山田　美樹（東京１区）	大隈　和英（比例：近畿）	神谷　昇（比例：近畿）	木村　弥生（比例：北関東）	谷川　とむ（比例：近畿）							
参議院	尾辻　秀久（鹿児島）	武見　敬三（東京）	林　芳正（山口）	衛藤　晟一（比例）	石井みどり（比例）	中川　雅治（東京）	古川　俊治（埼玉）	松下　新平（宮崎）	丸川　珠代（東京）	赤石　清美（比例）	石田　昌宏（比例）	大沼みずほ（山形）		
	島村　大（神奈川）	羽生田　俊（比例）	福岡　資麿（佐賀）	舞立　昇治（鳥取）	三宅　伸吾（香川）									

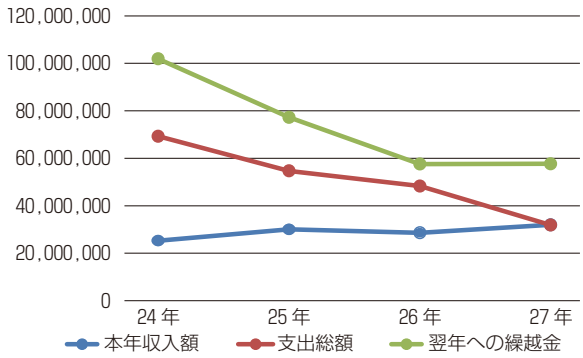
平成26・27年度の会計報告

～会費収入が伸びず，今後の活動への大幅影響を懸念～

会計責任者　神鳥　高世

平成 24 年度から連盟が直に会費徴収を始めましたが，平成 27 年度までの会計の推移を纏めてみました。右図の折れ線グラフの様に，会費収入はこの 4 年間ほぼ横ばいですが，支出は平成 26 年度までは収入を大幅に上回り，赤字決算のため繰越金はほぼ半分に目減りしています。そのため，平成 27 年度は支出を抜本的に見直し収支とんとんとなりましたが，繰越金は 6 千万円を切っており今後の連盟活動が危ぶまれます。会員増による会費収入増額が喫緊の課題です。

	本年収入額	支出総額	翌年への繰越金
24 年	25,305,000	69,300,220	101,882,860
25 年	30,053,000	54,684,777	77,251,083
26 年	28,609,940	48,286,084	57,574,939
27 年	31,970,000	31,859,550	57,685,389



自見はなこ参議院候補を日本眼科医連盟で公認決定！

自民党参議院比例区（全国区）支部長
日本医師連盟参与　自見はなこ

日本眼科医連盟の先生方におかれましては，日ごろよりご指導をいただき誠にありがとうございます。今夏に行われます予定の参議院議員選挙比例区（全国区）において，日本医師連盟のご推薦を頂きました自見はなこでございます。また，日本眼科医連盟からもご推薦を頂き誠にありがとうございます。

私は，『国民皆保険の堅持と発展』を基本政策と致しまして，医療・介護・福祉に携わる全ての皆様と国民の皆様との強固な架け橋となれるよう日々努力を致しております。

現在，我が国で視覚障害の方は 164 万人を超えると推定されております。難病に対する治療法の開発はもとより，眼科領域においても予防と，早期発見早期治療により国民に多くの恩恵がもたらされると信じております。健康寿命の延伸においても，眼科医療の領域における体制整備の一層の充実が必要と考えます。私も目の健康・福祉の分野に関して，積極的に取組んで参りたいと考えておりますので今後とも，日本眼科医連盟の先生方の変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますよう何卒，宜しくお願い申し上げます。結びに日本眼科医連盟の益々のご発展を心よりご祈念申し上げご挨拶とさせて頂きます。

支　援　議　員

平成 28 年 1 月 7 日現在

組織内候補　参議院

1	羽生田たかし	自由民主党	比例 25 年	当選 1 回

組織外候補　衆議院

1	丹羽　雄哉	自由民主党	茨城 6 区	当選 12 回
2	河村　建夫	自由民主党	山口 3 区	当選 9 回
3	鴨下　一郎	自由民主党	東京 13 区	当選 8 回
4	田村　憲久	自由民主党	三重 4 区	当選 7 回
5	井上　信治	自由民主党	東京 25 区	当選 5 回
6	赤沢　亮正	自由民主党	鳥取 2 区	当選 4 回
7	寺田　稔	自由民主党	広島県 5 区	当選 4 回
8	赤枝　恒雄	自由民主党	比例東京ブロック	当選 2 回
9	今枝宗一郎	自由民主党	愛知 14 区	当選 2 回
10	小松　裕	自由民主党	長野 1 区	当選 2 回
11	大隈　和英	自由民主党	大阪府第 10 区	当選 1 回
12	宗清　皇一	自由民主党	大阪府第 13 区	当選 1 回
13	桝屋　敬悟	公明党	比例中国ブロック	当選 7 回
14	山井　和則	民主党	京都 6 区	当選 6 回
15	笠　浩史	民主党	神奈川 9 区	当選 5 回
16	階　猛	民主党	岩手 1 区	当選 4 回

組織外候補　参議院

1	林　芳正	自由民主党	山口 25 年	当選 4 回
2	武見　敬三	自由民主党	東京 25 年	当選 4 回
3	古川　俊治	自由民主党	埼玉 25 年	当選 2 回
4	秋野　公造	公明党	比例区 22 年	当選 1 回
5	桜井　充	民主党	宮城 22 年	当選 3 回

会員からのご意見

1985 年設立の連盟は眼科医の医療政策に対する先見の明です。他よりも素早く立ち回れるところが連盟の良さです。今後も，先へ，先へと進んで下さい。

（北海道・笹本　洋一）

国民の目を守る医療制度構築に，政治の力は必須です。眼科医連盟こそが，我々専門家集団（眼科医）の想いを伝える最良の組織と思います。

（宮城県・加藤　圭一）

眼科医の要望や問題の行政へのお願いは，連盟が重要なメッセンジャーを果たしています。私達の意見を反映する連盟の重要性を認識し加入しましょう。

（新潟県・関　　伶子）

今，眼科医療保険制度は危機に瀕しています。大切な患者さんの眼を守るためには医療制度の改革が不可欠です。眼科医連盟の活躍に期待を！

（東京都・大越貴志子）

眼科医療政策を推進するためには眼科医連盟の強力な働きが不可欠です。御苦労も多いと思いますが，眼科医の明日のためにがんばって下さい。

（東京都・湯澤美都子）

日常診療を支える保険医療は，重要な制度です。眼科医療をサポートする連盟の活動と一層の発展を期待しています。

（東京都・戸張　幾生）

国民の眼を守る最善の医療を提供するためには眼科診療の現場から行政に働きかけてゆく必要があります。眼科医連盟をサポートします。

（愛知県・平野　耕治）

座していては何も変わりません。私たちの眼科医療に対する心を国に伝えるには政治の力が不可欠です。まずは眼科医連盟に参加して声を届けましょう。

（富山県・狩野　俊哉）

日眼医連盟の政治力が無ければ眼科医会の政策は実現しません。すべての眼科医は自身の生活に直結する連盟活動の重要性をもっと認識すべきです。

（大阪府・佐堀　彰彦）

すぐに２年後の診療報酬改定に向けての準備に入らなければならない，そのために皆さんに加盟して頂いた眼科医連盟の年会費を有用に使わせていただいております。開業されている先生はもちろん，勤務医の先生もご協力よろしくお願いします。　（兵庫県・柴原　榮）

議員連盟を通じ，国政に我々の声が届けられることを希望。さらに今年は，選挙の年。新たに女性医師の視点が加わりそうで，とても期待しています。

（岡山県・坂口　紀子）

連盟は診療報酬の要望や眼鏡士団体への圧力だけとのイメージが強いです。勤務医の労働環境改善など福利厚生にも声をあげて頂きたい。

（熊本・近藤　晶子）

この１年間に，連盟にご意見を寄せてくださった会員の中から，地域のバランスを考えてお願いしました。

日本眼科医連盟　平成 28・29 年度役員

役　職	氏　名	役　職	氏　名
委　員　長	高野　　繁	会計責任者	皆良田研介
副 委 員 長	白井正一郎	会計責任者 職務代行者	小沢　忠彦
	川野　晃嗣		
執 行 委 員	山岸　直矢	監　　事	濱崎　　陞
	神鳥　高世		吉田　　博

皆さまからのご意見をお待ちしています！

ご要望・ご提案・お叱り・応援，何でも結構です。いつでも，下記へお寄せください。

（連盟用 FAX 番号　03-5765-7676）